



たかなし

校訓
「尚志」
「知新」
第23号
令和6年10月4日

小中合同あいさつ運動

9月26日(木)と27日(金)に、小中合同あいさつ運動がありました。今年度2回目となります。

本校を卒業した中学生が早朝から駆けつけてくれて、高梨小の運営委員のみなさんも一緒に並んで、登校してくる子どもたちにあいさつをしました。1回目に引き続き、今回も、青少年育成大仙市民会議仙北地域会議と仙北地区民生児童委員協議会の方々もあいさつ運動に加わっていただき、たくさんの人たちが子どもたちを迎えました。この状況に、恥ずかしがって口ごもってしまう子どももいましたが、あいさつの声が玄関前に響き渡りました。あいさつのよさを広げてくれた中学生や地域の皆様に感謝いたします。

さて、このあいさつ運動の実施中に、中学生が「あいさつ名人」を見つけてくれました。「あいさつ名人」とは、自分から相手を見て明るく大きな声であいさつできた人のことです。紹介します。

◇26日(木)のあいさつ名人◇

5年:篠村〇〇、佐藤〇〇、小林〇〇 4年:小林〇〇

◇27日(金)のあいさつ名人◇

6年:樫尾〇〇 5年:篠村〇〇、高橋〇〇、鈴木〇〇 4年:松本〇〇 3年:大西〇〇 1年:竹村〇〇



宮川紗江さんの講話と授業

本物に触れることの大切さを実感できた学習活動でした。

2日(水)、元体操選手の宮川紗江さんが来校し、全校の子どもたちに講話をしてくださいました。入場とともに中央のマット上で体操の技を披露され、子どもたちはその一瞬で宮川さんに引きつけられました。自分のこれまでの経験や子どもたちへの願いを話していただきました。その中で、「周りの人に優しくしてほしい」「目標を持つことが大切。達成できる目標を1つ1つ達成して行ってほしい」「大切にしている言葉は『雲の上はいつも晴れ』」などと、様々なメッセージを伝えてくれました。子どもたちからの質問にも、分かりやすく回答してくれました。

全校児童への講話の後には、6年生への跳び箱運動の授業がありました。的確なアドバイスをしたり跳ぶ子どもたちを補助したりして、できる技を増やしたり高めたりしてくれました。児童にとって、貴重な時間となりました。



さつまいも掘り

3日(木)、全校でさつまいも掘りが行われました。柵磨呂グループごとに、苗を植えた場所に行き、掘る場所を分担したり大きなサツマイモを協力して掘ったりしていました。大きなさつまいもを掘ることができ、満面の笑顔の子どももいました。

この活動には、地域住民のグループ「女のつどい」「秘密基地『男たちの隠れ家』」や民生児童委員の方々、大仙市社会福祉協議会の職員の方々からも協力していただき、一緒にさつまいも掘りをしました。誠にありがとうございました。



おめでとう がんばりました!

○子ども読書通帳

二百冊賞 2年 佐藤 ○○

